



3年A組

# 日 方 川

大樹高校 PTAだより

第 139 号

令和8年3月1日発行  
 発行人 鈴木 和昭  
 編集人 面尾 良太  
 櫻井 健一郎  
 矢木 康嗣

## ～ご卒業おめでとうございます～



### 卒業を迎えて



3A  
横山 沙也

「新入生入場」この一言で高校生活が始まりました。小学校から一緒の子もいれば高校から仲間入りした子もいて入学式後の数日は緊張でどうなることかと思っていたけれど今思えばみんなずっと前から一緒にいる感覚があるからどこか不思議です。一年生の時はどの行事にも「初めて」という言葉が飾られていたの「最後は」という言葉が飾られているわけだから色々な人から高校はあつたという間だと聞いていたけれど本当にあつたという間だったなと卒業すること実感はわかない私はどこか他人事のように思います。

どんな時も味方でいてくれたお父さん、お母さんをはじめとした家族のみんな。そして困ったことがあった時には手を差し伸べてくれた先生方。楽しい思い出と一緒に作ってくれたクラスのみんな。様々な行事において支えてくださった町民の方々など、全ての方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。

三Aのみんなへ。たくさん笑わせてくれて、たくさん思い出と一緒に作ってくれて本当にありがとう。ここでいったんお別れになるけどお互い成長した姿でまた会おうね。大好きです。

### 卒業に寄せて



3A担任  
安達 元

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様におかれましては、この日を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。大樹高校への異動が決まり、ドキドキしながら迎えた昨年度の四月。その二年間、この学年の担任として、生徒と関わらせて頂くことになりました。

初めて三年生の皆さんと顔を合わせた時、少し緊張していましたね。自分自身もどんな生徒たちなのか、これからどんな生活が待っているのかと緊張していたことを覚えていてます。しかし、すぐに色々な話をしてくれ、温かく迎え入れてくれたおかげでここまで楽しい日々を過ごさせていただきました。このクラス「個性の強い」の印象です。いい意味でも悪い意味でも個がはっきりとしており、様々な場面でそれぞれの能力が発揮される。そしてそれを受け入れることから感心させられることもとても多かったです。

二年次の大きな行事であった台湾見学旅行。「海外に行くのが怖い、心配

だ」という声も多くありました。初めて飛行機に乗る人もいて様々な思いを抱えていました。事前学習での学びや実際に現地に行つて様々な経験をした皆さん。いろいろな思いはありますが、興味津々にいろいろなことを吸収していく姿には頼もしさを感じました。また、台湾に行きたいという声を聞いたときには、私自身すぐうれしく思いました。

三年生になり、それぞれの進路活動が忙しくなり、最後の高校生活の日が流れていきました。自分の将来を見据え、進路選択をする中で皆さんは大きく成長したと思います。これまでの学校生活は楽しいことばかりではなかったと思います。様々な衝突もあり人間関係に悩んだり、怒られてへこんだり、きつと同窓会で集まったときの懐かしい昔話になることでしょう。

これからも様々な困難にぶつかるとは思いますが皆さんなら大丈夫です。なんとかなります。諦めずに頑張ってください。皆さんの高校生活というかけがえのない時間を一緒に過ごしてくれたことは本当にうれしく思います。またどこかで会えることを信じています。二年間ありがとうございました。



